

ミズナ、ミブナ (アブラナ科)

適期に播種し、越冬前までに根の生育、株張りをよくしておく。肥切れしないように施肥管理する。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地 (直まき)										播種			収穫

1) 適地

ツケナ類の一種で、わが国では最も歴史の古い野菜です。比較的冷涼な気候を好み、生育の適温は15～18℃です。土壌の適応性は広く土質を選びませんが、有機質に富む土壌で良質のものが収穫できます。

2) 品種

ミズナ：晩生白茎千筋京水菜、中生白茎千筋京水菜、京しぐれ、京かなで、京みぞれ
ミブナ：晩生丸葉壬生菜、中生丸葉壬生菜、京錦

3) 作り方

【圃場の準備】酸性土壌を嫌いますので、播種の1か月前に1m²当たり堆肥2kg、苦土石灰100g、BMようりん30gを施用し、よく耕耘します。1週間前に1m²当たりホウ素入りの高度化成肥料60gを施用して耕耘後、幅120cmの畝を立てます。

【播種】条間40cm、株間40cmの2条となるよう、手または播種機で1か所数粒ずつ播種します。サラダ用に作る場合は、条間20cm、株間数cmの3条となるよう条播きします。播種後は十分に灌水し、発芽まで乾燥させないようにモミガラ等で畝の表面を覆います。

【間引き】本葉が5～7枚になった頃、生育不良のものや病気のもの、害虫の被害を受けたものを間引いて1本にします。

【追肥と管理】間引き後に、高度化成肥料を1m²当たり30gとなるよう、条間に施用し、中耕します。乾燥が激しい場合は、散水チューブやスプリンクラーなどで灌水するとよいでしょう。

【収穫】草丈が30cmくらいになったものから順次収穫します。サラダ用として収穫する場合は、株があまり大きくなる前に収穫します。

4) 病虫害防除

発芽直後にキスジノミハムシの被害を受けます。また、コナガ、ヨトウムシ類、アブラムシ類、ハムシ類の被害も大きいので、こまめに防除することが必要です。病害では白さび病が発生しますので、発生前から予防的に防除するとよいでしょう。



ミブナ